

株式会社トーア紡コーポレーション

令和6年12月期 決算説明資料

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

令和7年2月13日

The logo for TOABO, consisting of the letters 'TOABO' in a bold, white, sans-serif font, centered on a solid blue rectangular background.

令和6年12月期決算 概要

売上高 **18,419百万円** (前年同期比△3.3%)
(計画対比+8.3%)

営業利益 **687百万円** (前年同期比△7.4%)
(計画対比+9.1%)

経常利益 **857百万円** (前年同期比+5.8%)
(計画対比+56.0%)

親会社株主に帰属する

当期純利益 **799百万円** (前年同期比+39.4%)
(計画対比+142.2%)



中期経営計画（令和4年度～令和6年度）最終年度となる当期は
前年対比では売上高、営業利益が減少となるも、
各項目において**中期経営計画の目標を達成**

目次

▶ トーア紡グループの企業理念	P. 3
▶ 令和6年12月期 通期業績	P. 4 ~ 16
▶ 令和7年12月期 業績予想	P.17 ~ 19
▶ 株主還元	P.20
▶ トーア紡グループのSDGs	P.21 ~ 25
▶ トピックス	P.26
▶ 免責事項	P.27

トーア紡グループの企業理念

経営理念

暮らしと社会の明日を紡ぐ

当社グループは創業者の訓示である『顧客満足』『重点主義』『公平性』を脈々と受け継ぎ、人々そして暮らしの「アメニティ＝快適・こちよさ」を追求する『暮らしと社会の明日を紡ぐ』企業グループであり続けます。

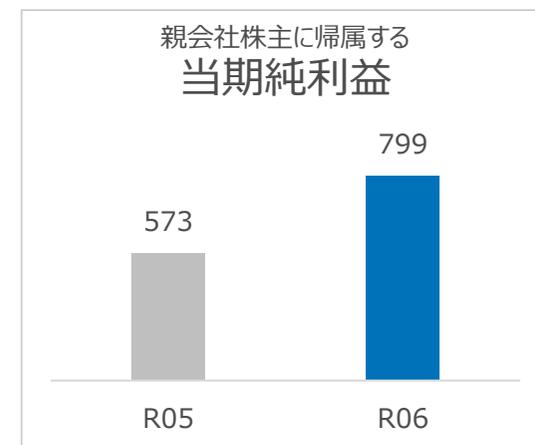
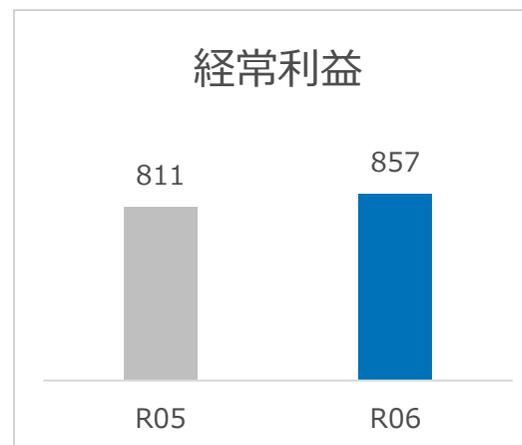
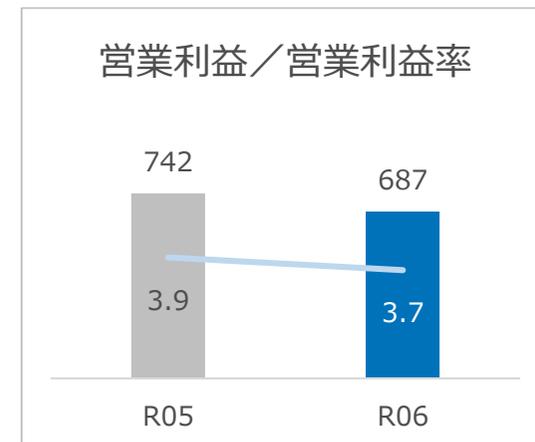
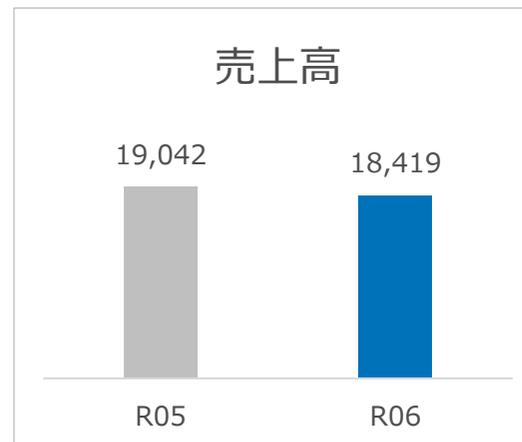
経営の基本方針

- ▶ トーア紡クオリティの追求と新しい価値の創造、環境負荷の低減に積極的に取り組むことを通じて、モノづくりの伝統を未来へつなげる。
- ▶ 時代に必要とされる新たな価値を創造することで社会に貢献し、求められる企業集団として成長、発展し続ける。
- ▶ 個性の尊重と和を重んじ、公正・公平な機会と活力ある職場環境を構築し積極的に挑戦する企業集団であり続ける。

令和6年12月期 通期業績 連結決算概要 (金額：百万円)



	実績		前年同期比 増減率
	令和5年 12月期	令和6年 12月期	
売上高	19,042	18,419	△3.3%
営業利益	742	687	△7.4%
営業利益率	3.9%	3.7%	△0.2pt
経常利益	811	857	+5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	573	799	+39.4%



前年同期比では減収。営業利益は減益となるも経常利益は為替差益等により増加、親会社株主に帰属する当期純利益は繰延税金負債の取崩等により増加

令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



	実績						前年同期比 増減率		
	令和5年12月期			令和6年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	7,141	391	5.5%	6,513	315	4.8%	△8.8%	△19.4%	△0.6pt
インテリア 産業資材事業	7,418	227	3.1%	7,372	220	3.0%	△0.6%	△2.9%	△0.1pt
エレクトロ ニクス事業	1,572	△39	—	1,648	△5	—	+4.9%	—	—
ファイン ケミカル事業	1,172	49	4.2%	1,225	51	4.2%	+4.5%	+5.3%	+0pt
不動産事業	907	528	58.2%	915	529	57.8%	+0.8%	+0.2%	△0.3pt
その他	830	△29	—	743	△83	—	△10.4%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△383	—	—	△340	—	—	—	—
合計	19,042	742	3.9%	18,419	687	3.7%	△3.3%	△7.4%	△0.2pt

令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



衣料事業

		(前年対比)
売上高	6,513百万円	△8.8%
営業利益	315百万円	△19.4%
営業利益率	4.8%	△0.6pt

業績概要

毛糸部門

- ▶ 残暑の影響で総じて苦戦も肌着などの軽衣料向けが健闘し微減収にとどまる

ユニフォーム部門

- ▶ スクール向け素材は継続的な受注増と生産体制の構築による供給力の向上もあり増収
- ▶ 官公庁向けは調達量の増加により増収
- ▶ 一般企業向けは別注案件の獲得により増収

テキスタイル部門

- ▶ 前年の暖冬等の影響による得意先の生産調整や、素材の非ウール化により受注が大幅に減少し減収

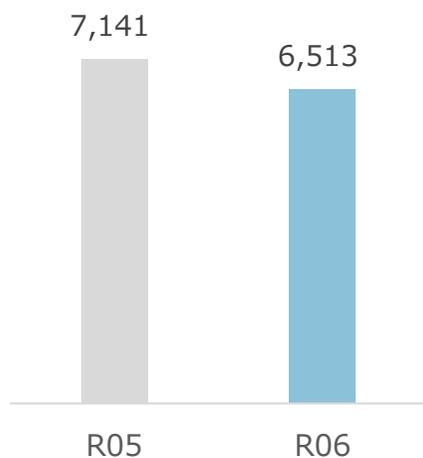
毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶ 中国国内販売が苦戦し減収

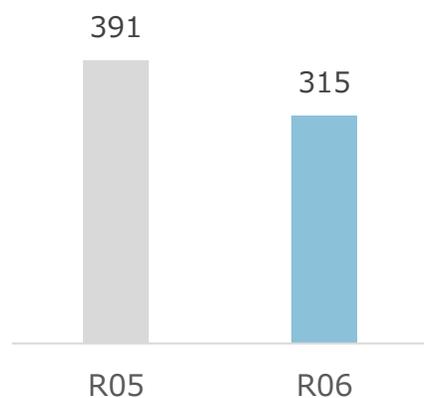
今後の取り組み

- ・ 人材確保、設備投資も含め、国内生産体制の拡充に注力
- ・ DX化の更なる推進による業務効率の向上
- ・ 海外拠点という強みを最大限活かした開発、拡販、仕組み作り

売上高



営業利益



令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

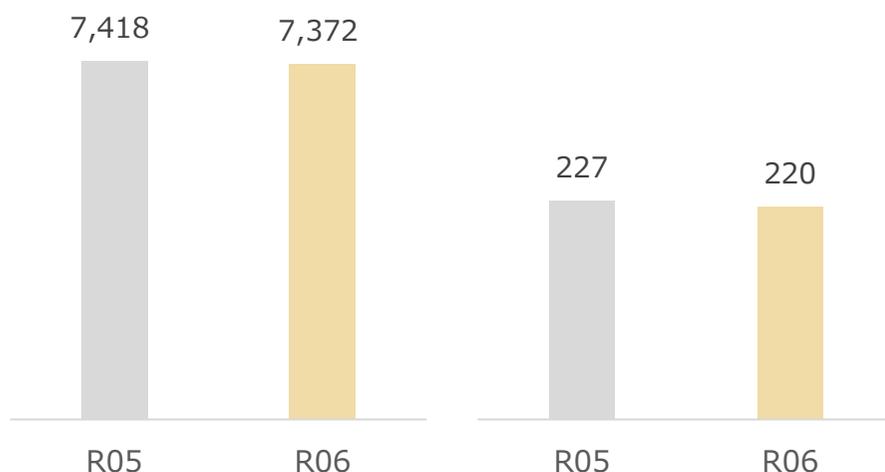


インテリア産業資材事業

		(前年対比)
売上高	7,372百万円	△0.6%
営業利益	220百万円	△2.9%
営業利益率	3.0%	△0.1pt

売上高

営業利益



業績概要

自動車内装材部門

- ▶ 前半に自動車メーカーの認証試験不正による生産停止の影響を受け出荷数量が減少するも、後半に生産数量が戻り増収しかしながら原材料の価格を転嫁しきれず減益

ポリプロファイバー部門

- ▶ 展示会やイベント向けカーペット用原綿の需要増加により増収増益

カーペット部門

- ▶ 自動車向けは自動車メーカーの認証試験不正の影響により、ホテル・オフィス向けは消費者需要の減少により、生産量が減り減収

特殊繊維部門

- ▶ カーボン繊維、金属繊維ともに販売数量が増えるも、生産効率の低下により増収減益

不織布部門

- ▶ 土木関係の受注が減るも、防草、寝装関係が順調に推移し増収増益

自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶ 日系自動車メーカーの減産が前年より継続
また、中国ローカルEV車メーカーの新規受注があったものの、生産調整の影響を受け減収減益

今後の取り組み

- ・ 国内工場、中国とも生産性向上と新規分野開拓のための設備投資を進め、効率的な稼働とコストの安定化を図る

令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



エレクトロニクス事業

		(前年対比)
売上高	1,648百万円	+4.9%
営業損失	5百万円	前年同期は 営業損失39百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

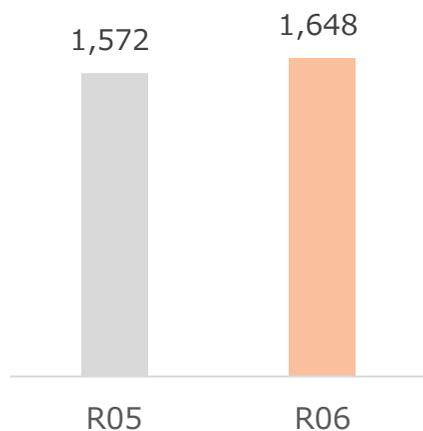
業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、取引先の在庫調整が完了、生産量が安定して増収
- ▶ パワー半導体の販売は産業機器分野での回復が遅れて減収

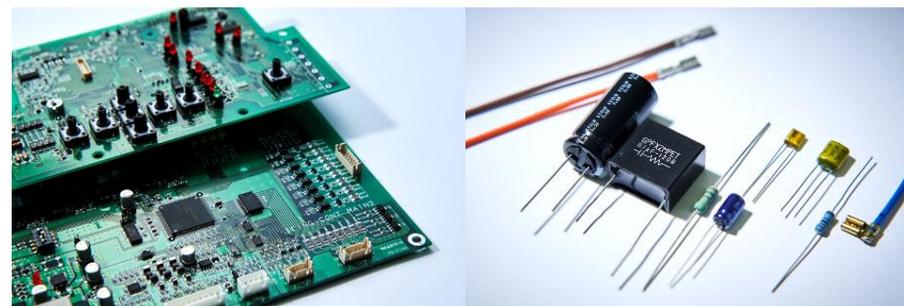
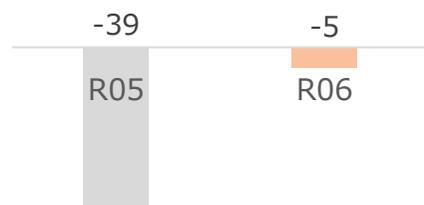
今後の取り組み

- ・ 既存のコントローラーについては生産効率を高めるとともに生産品目の見直しを進める
- ・ 新規分野の偏光レンズフィルムやEMS対応ベルト・コントローラーの販売を強化することで収益の向上を図る

売上高



営業利益



令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



ファインケミカル事業

		(前年対比)
売上高	1,225百万円	+4.5%
営業利益	51百万円	+5.3%
営業利益率	4.2%	+0pt

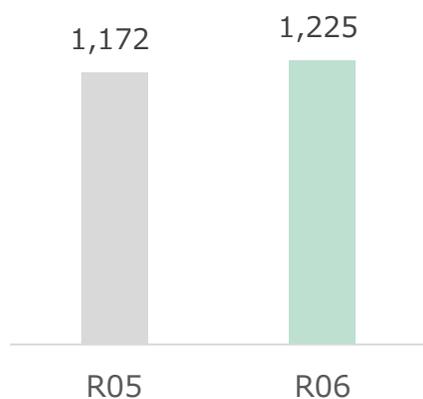
業績概要

- ▶ 電子材料分野ではIT機器や半導体向けの需要の回復が第3四半期より本格化し増収
- ▶ ジェネリック医薬分野では先発メーカー品からの回帰の流れを受け増収

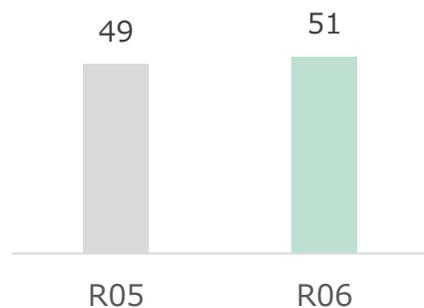
今後の取り組み

- ・ 成長分野の電子材料向けの生産能力増強と生産性向上に取り組む
- ・ 独自技術により開発した高機能性材料で新たな顧客価値を創造し更なる収益力向上に注力

売上高



営業利益



令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



不動産事業

		(前年対比)
売上高	915百万円	+0.8%
営業利益	529百万円	+0.2%
営業利益率	57.8%	△0.3pt

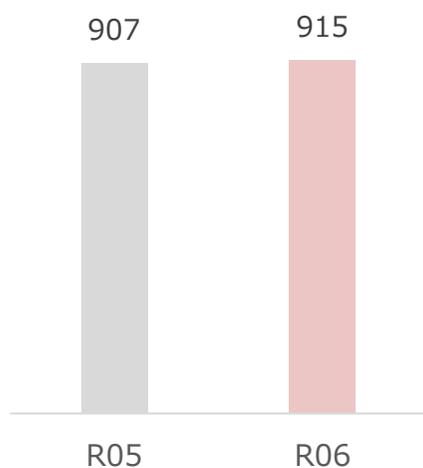
業績概要

- ▶ 新規テナントの入居が決まり増収
- ▶ 販売費の増加により微増益にとどまる

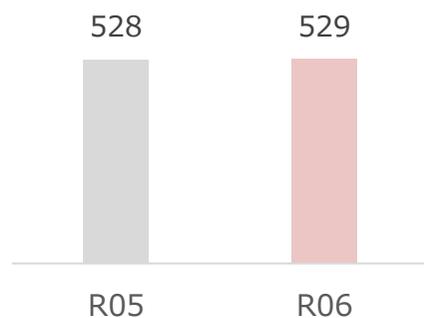
今後の取り組み

- ・ 商業施設、オフィスビル等の賃貸物件の付加価値を高め、稼働率の向上を図り、安定収益の確保に努める
- ・ 保有森林の維持管理などSDGsを意識した資産の活用を促進し、環境負荷低減へ貢献

売上高



営業利益



令和6年12月期 通期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)



その他の事業		
		(前年対比)
売上高	743百万円	△10.4%
営業損失	83百万円	前年同期は 営業損失29百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

業績概要

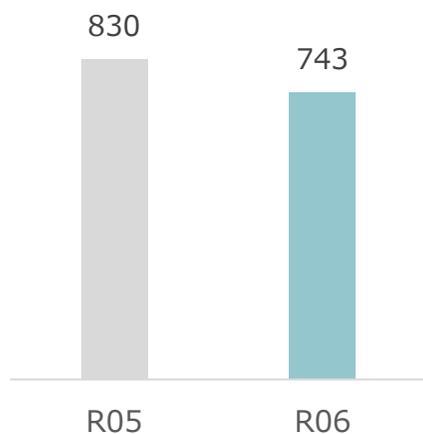
自動車教習事業

- ▶ 年間を通じ大学生の入校状況が低調で減収

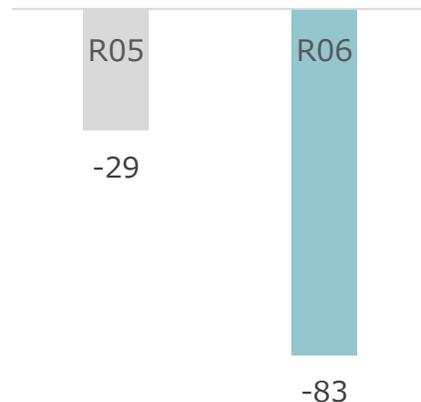
ヘルスケア事業

- ▶ ムサシノ製薬の主力商品であるフタアミンクリームが、猛暑の影響により得意先の在庫が減らず、秋以降の販売が伸びなかったため減収

売上高



営業利益



令和6年12月期 通期業績 中期経営計画との比較

(金額：百万円)



	計画	実績		
	令和6年12月期	令和6年12月期	計画比 増減	達成率
売上高	17,000	18,419	+1,419	108.3%
営業利益	630	687	+57	109.1%
経常利益	550	857	+307	156.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	330	799	+469	242.2%

中期経営計画（令和4年～令和6年）最終年度の目標を全項目達成

令和6年12月期 通期業績 中期経営計画との比較

(金額：百万円)



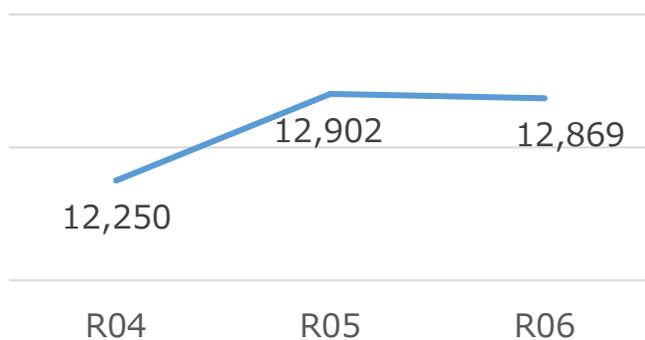
	中期経営計画			実績			増減		
	令和6年12月期			令和6年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	5,730	170	3.0%	6,513	315	4.8%	+783	+145	+1.8pt
インテリア 産業資材事業	6,410	200	3.1%	7,372	220	3.0%	+962	+20	△0.1pt
エレクトロ ニクス事業	2,280	65	2.9%	1,648	△5	—	△631	△70	—
ファイン ケミカル事業	1,280	110	8.6%	1,225	51	4.2%	△54	△58	△4.4pt
不動産事業	910	550	60.4%	915	529	57.8%	+5	△20	△2.6pt
その他	390	35	9.0%	743	△83	—	+353	△118	—
調整額 (販管費等)	—	△500	—	—	△340	—	—	+159	—
合計	17,000	630	3.7%	18,419	687	3.7%	+1,419	+57	+0pt

令和6年12月期 通期業績 財務主要指標 (金額：百万円)

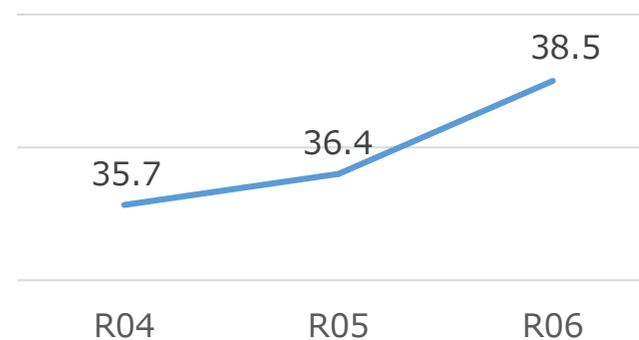


	令和4年12月期 実績	令和5年12月期 実績	令和6年12月期 実績
総資産	32,911	34,455	34,842
純資産	11,746	12,540	13,427
有利子負債	12,250	12,902	12,869
ネットD/Eレシオ	0.83倍	0.83倍	0.78倍
自己資本比率	35.7%	36.4%	38.5%

有利子負債



自己資本比率



令和6年12月期 通期業績 連結貸借対照表サマリー

(金額：百万円)



連結貸借対照表	令和5年12月	令和6年12月	増減
流動資産	11,102	11,200	+98
固定資産	23,352	23,641	+289
資産合計	34,455	34,842	+387
流動負債	9,126	8,912	△213
固定負債	12,789	12,502	△286
負債合計	21,915	21,415	△500
株主資本	11,127	11,753	+625
その他包括利益累計額	1,403	1,665	+261
非支配株主持分	9	8	△0
純資産合計	12,540	13,427	+887
負債・純資産合計	34,455	34,842	+387
(自己資本比率)	36.4%	38.5%	+2.1pt

令和6年12月期 通期業績 連結キャッシュフロー サマリー

TOABO

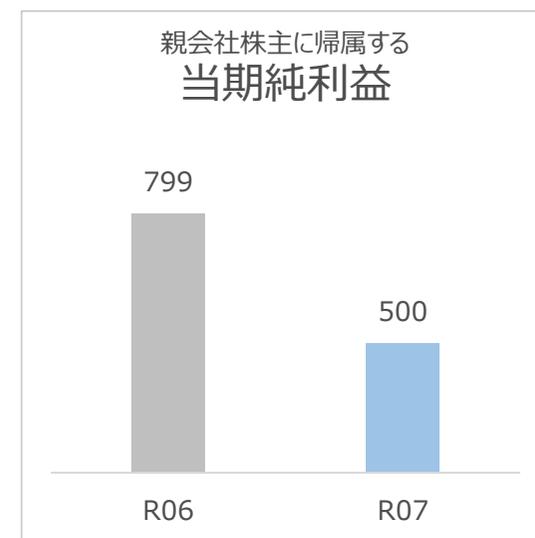
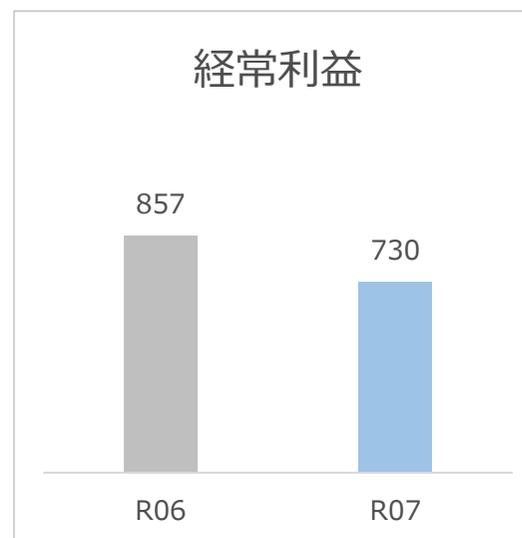
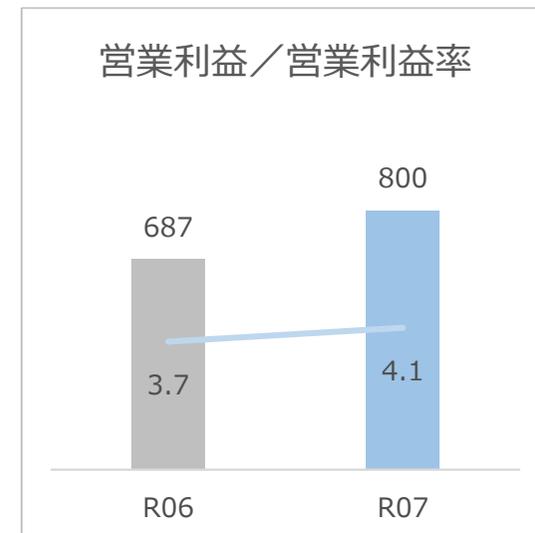
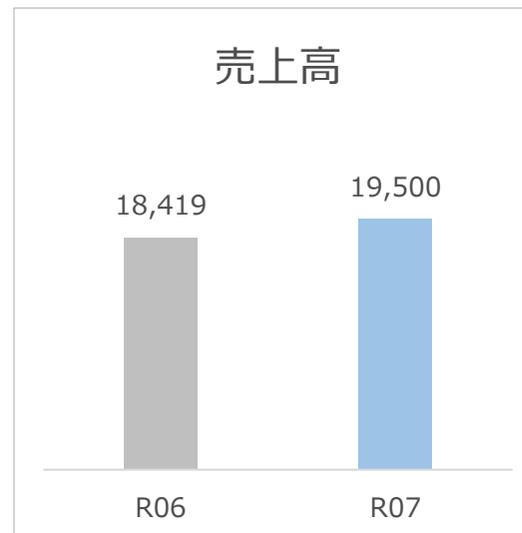
(金額：百万円)

	令和5年12月累計	令和6年12月累計	
純利益	512	862	営業キャッシュフロー 主な増加要因： 棚卸資産の減少 152百万円 主な減少要因： 売上債権の増加 249百万円 仕入債務の減少 181百万円
減価償却費	397	438	
運転資金	△532	△278	
その他	36	△451	
営業CF	414	571	
設備投資	△574	△422	投資キャッシュフロー 主な減少要因： 有形固定資産の取得による支出 407百万円
その他	△22	264	
投資CF	△597	△157	
長・短期借入金増減	334	△26	財務キャッシュフロー 主な減少要因： 配当金の支払額 106百万円 自己株式の取得による支出 89百万円
自己株式取得	△0	△89	
配当金	△97	△106	
その他	△7	△7	
財務CF	230	△229	
CF増減	54	199	

令和7年12月期 業績予想 (金額：百万円)



	実績	業績予想	前年同期比 増減率
	令和6年 12月期	令和7年 12月期	
売上高	18,419	19,500	+5.9%
営業利益	687	800	+16.4%
営業利益率	3.7%	4.1%	+0.4pt
経常利益	857	730	△14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	799	500	△37.4%



令和7年12月期 セグメント別業績予想 (金額：百万円)



	実績			業績予想			前年同期比 増減		
	令和6年12月期			令和7年12月期					
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
衣料事業	6,513	315	4.8%	6,600	270	4.1%	+86	△45	△0.8pt
インテリア 産業資材事業	7,372	220	3.0%	7,450	250	3.4%	+77	+29	+0.4pt
エレクトロ ニクス事業	1,648	△5	—	1,700	30	1.8%	+51	+35	—
ファイン ケミカル事業	1,225	51	4.2%	1,350	105	7.8%	+124	+53	+3.6pt
不動産事業	915	529	57.8%	900	500	55.6%	△15	△29	△2.3pt
その他	743	△83	—	1,500	35	2.3%	+756	+118	—
調整額 (販管費等)	—	△340	—	—	△390	—	—	△49	—
合計	18,419	687	3.7%	19,500	800	4.1%	+1,080	+112	+0.4pt

令和7年12月期 セグメント別業績予想 前年同期比 増減要因

	前年同期比		主な増減要因
衣料事業	売上高 +86 百万円 ▲	営業利益 △45 百万円 ▼	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新商材、新領域での案件獲得による受注増加 ▶ 加工賃等のコスト上昇により収益性が低下
インテリア産業資材事業	売上高 +77 百万円 ▲	営業利益 +29 百万円 ▲	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 展示会やイベント向けの需要好調が継続 ▶ 生産性向上、効率化によるコストの安定化
エレクトロニクス事業	売上高 +51 百万円 ▲	営業利益 +35 百万円 ▲	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 在庫調整完了の主力商品（電動工具向けコントローラー）の需要が回復 ▶ 新規分野（車載用電子部品、偏光レンズフィルム等）の拡充
ファインケミカル事業	売上高 +124 百万円 ▲	営業利益 +53 百万円 ▲	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 電子材料分野の需要回復が本格化、生産能力を増強した設備で対応 ▶ 独自技術による開発商材の拡充
不動産事業	売上高 △15 百万円 ▼	営業利益 △29 百万円 ▼	<ul style="list-style-type: none"> ▶ テナントの入退去のタイムラグのため減収 ▶ 販売費の増加
その他	売上高 +756 百万円 ▲	営業利益 +118 百万円 ▲	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ヘルスケア事業：ムサシノ製薬、主力商品の需要が回復 ▶ 新規のアグリビジネス事業による販売が本格的に開始
調整額 (販管費等)	売上高 —	営業利益 △49 百万円 ▼	▶ 一般管理費の増加
合計	売上高 +1,080 百万円 ▲	営業利益 +112 百万円 ▲	▶ 基幹事業であるエレクトロニクス事業、ファインケミカル事業の市況が回復、グループ全体の収益力が向上

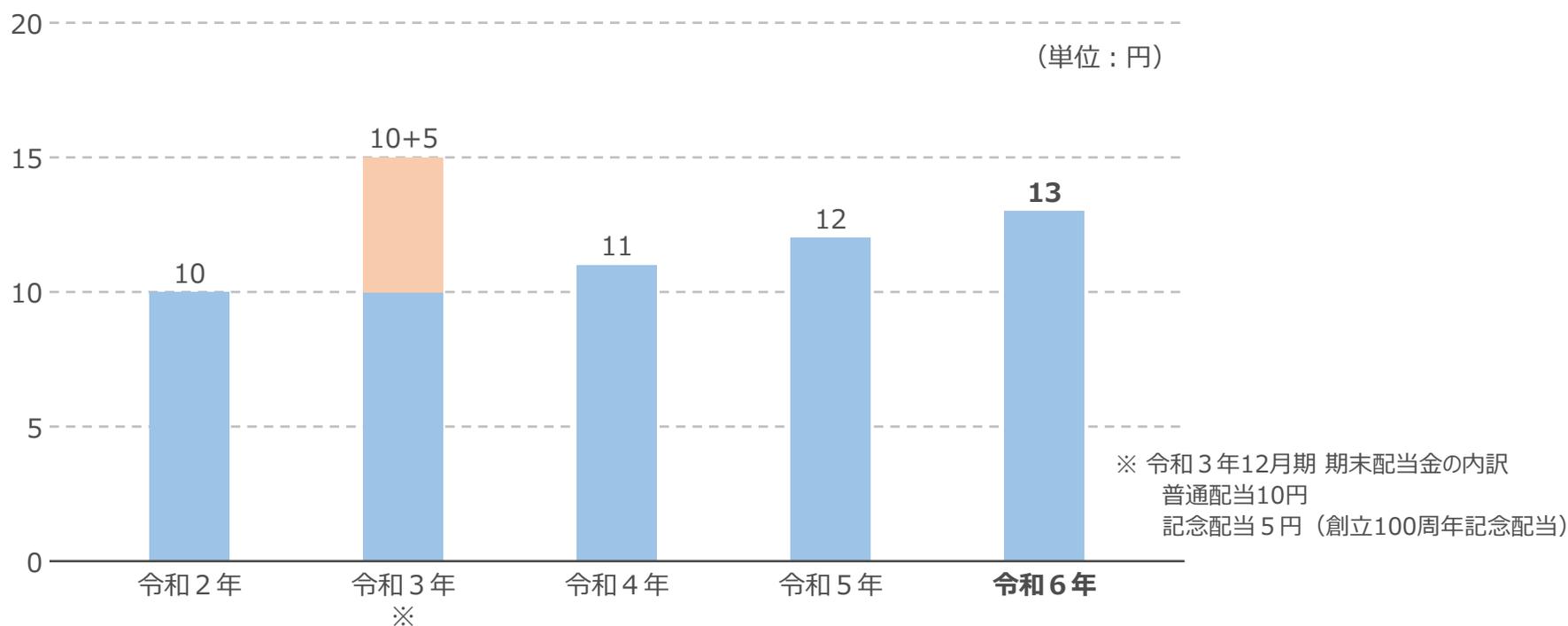
株主還元

考え方

- ▶ 成長投資、財務状況とキャッシュフローなどのバランスを総合的に勘案する
- ▶ 安定的かつ継続的に実施する

1株あたり配当

令和6年12月期は、**中期経営計画通り1株あたり13円**の普通配当を実施



トア紡グループのSDGs



環境配慮の仕組みづくり

GREEN WOOL

VALUE CHAIN

～CSR、環境負荷低減と経済性の実現～



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、ケケン試験認証センターの協力のもと、SDGsの達成に向けて『GREENWOOLバリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードを目指し、構築・運用を進めております。

現在、尾州の協力工場を中心に加盟が進んでおり、CSRの評価の実施や各サプライチェーンの使用エネルギーなどをモニタリングし、CO₂、産業廃棄物排出量の削減に取り組んでおります。

2024年度取り組み状況

- ▶ CO₂排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
- ▶ ブランド化の推進中
(アパレルへの提案を準備中)
- ▶ 環境配慮取組アイコンを作成
- ▶ サプライチェーンではクリーンエネルギーへの変更を推進



トーア紡グループのSDGs

環境にやさしい企業活動

中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰受賞

トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場

2024年2月、エネルギー使用合理化への取り組み「ガス焼き高効率ボイラーへの更新」が評価され、エネルギー管理優良事業者等として中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を受賞しました。



改善の内容

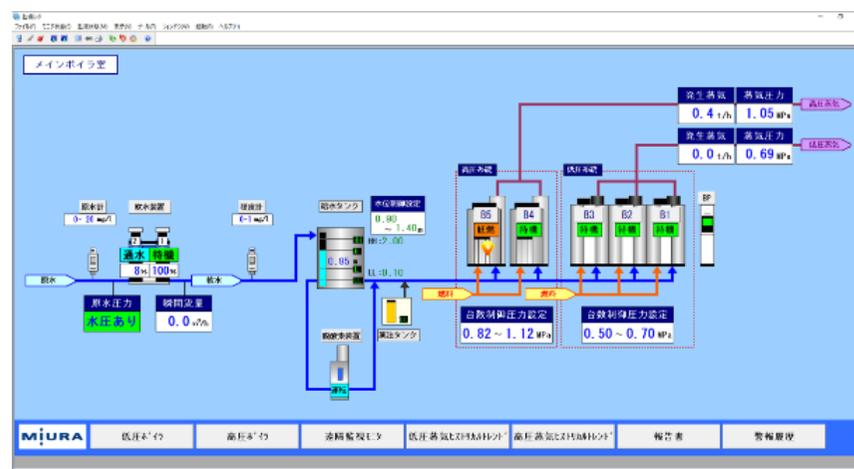
- ▶ ボイラー室の場所を変更 ⇒ 配管ルート短縮
- ▶ 燃料を都市ガスに更新 ⇒ CO₂排出量削減
- ▶ 負荷状況に応じて運転パターンを制御
- ▶ 稼働状況の遠隔監視システムによる最適運転

CO₂排出量

38.7%削減

エネルギー使用量
(原油換算量)

16.5%削減



循環型経済（Circular Economy）への貢献

炭素繊維のリサイクル

軽量化によるCO₂削減を目的として、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）使用量は今後ますます増加すると予想されます。

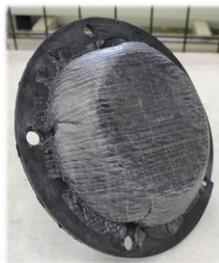
しかし、生産時に多くのCO₂を排出することも知られています。

トーア紡は紡績技術を用い、短繊維であるリサイクルCFを連続繊維化することで再利用の可能性を広げる新たな素材開発に取り組んでいます。

岐阜大学、三重大学、三重工業研究所との共同研究として環境再生保全機構（ERCA）の令和2年度環境研究総合推進費委託研究、また、経済産業省の令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）として採択されています。



リサイクルCFの糸



成形品



リサイクラーが取り出したCFを利用



循環型経済（Circular Economy）への貢献

スーツのリサイクルシステム

トーア紡と株式会社AOKI様は、1996年よりウール・エコサイクル・プロジェクトとしてスーツのリサイクルに取り組んでおります。

株式会社AOKI様ではさらに進化させた【OKAERI エコ プロジェクト】を立ち上げ、本プロジェクトの一環として、回収BOXを2024年10月中旬よりAOKI・ORIHICA店舗に順次設置されています。

トーア紡では、AOKIの店頭から回収したスーツをリサイクルセンターにて副資材などを分離した後、反毛しフェルトを製造しています。今回、このフェルト素材を利用した回収BOXを提供しております。



12 つくる責任
つかう責任



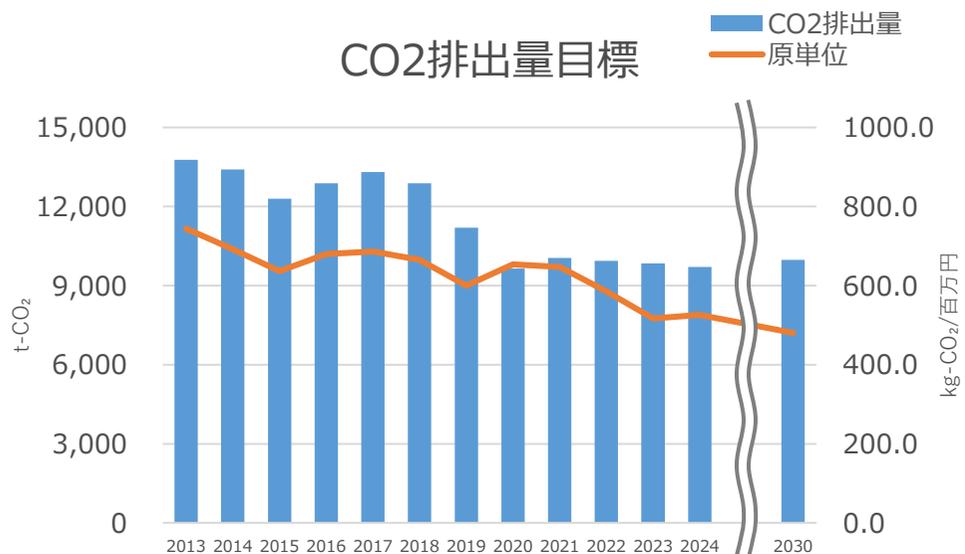
17 パートナシップで
目標を達成しよう



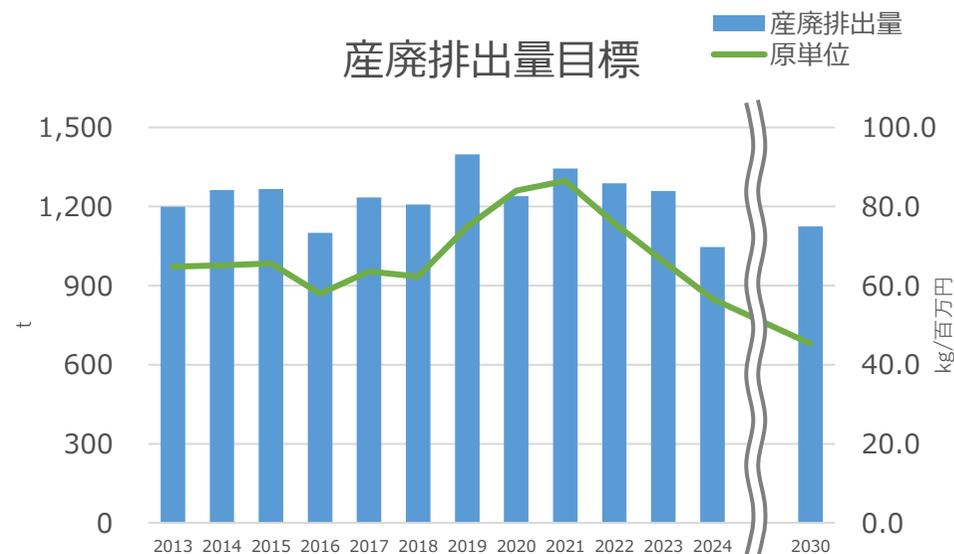
トア紡グループのSDGs



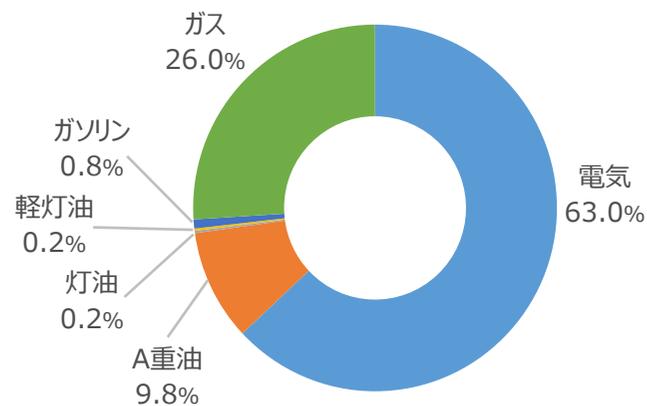
CO2排出量目標



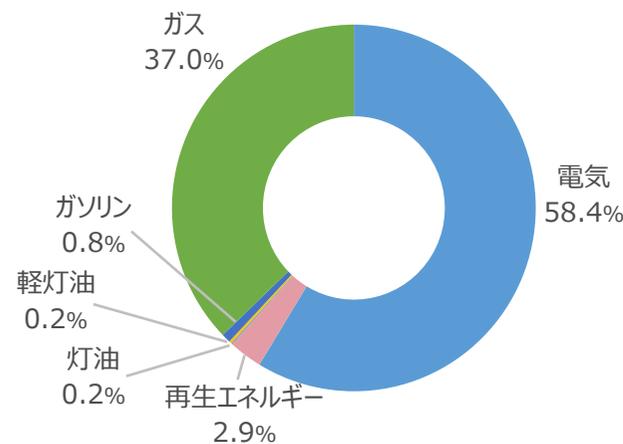
産廃排出量目標



2024年 エネルギー使用比率



2030年 エネルギー使用比率 (目標)



- ・ 効率的な生産体制の確立
- ・ 省エネタイプ設備への移行 (LED、ボイラー等) による削減

▶ 株主優待制度を継続して実施

目的

株主の皆様の日頃のご支援とご愛顧に感謝するとともに、制度を通じて当社グループに対するご理解をより深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくため

対象となる株主様

毎年12月31日現在、同一の株主番号で当社株主名簿に1年以上継続して記載または記録されている当社株式1,000株（10単位）以上を保有されている株主様

実施時期

令和7年4月頃に、対象となる株主様に「株主優待のご案内」を発送予定

内容

当社オリジナルカタログに掲載の自社グループ商品（12,000～15,000円相当）またはグルメ商品（3,000円相当）からいずれか1点の優待品を贈呈

《ご参考》 **自社商品** ヘルスケア商品（12,000～15,000円相当）
商品一例



または



または



※ 画像はイメージです。
実際の商品とは異なる
場合がございます。

※その他詳細は弊社コーポレートサイト内 IR News (<https://www.toabo.co.jp/ir/release/>) をご覧ください。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。